

ユニア対象事業（3競技）の推進、また、普及度の低い競技の普及・振興を図るため未普及競技普及教室（12競技）の開催、各競技団体が実施する競技別強化合宿事業（39競技）、県外の優秀なコーチを招へいしての中央アドバイザーコーチ事業（32競技）、中学校・高等学校運動部のより一層の活性化を図るための中学・高等学校運動部指定事業（中学校18部高等学校52部）を積極的に推進した。

さらに、成年層の競技力向上を図るため、昭和63年に設立された「福島県企業スポーツ連絡協議会」の会員の拡充（137社1団体）が図られ、中でも45企業が競技スポーツに取り組み、指導者や選手の確保に努めた。

平成2年度競技力向上対策推進の経過は次のとおり。

2. 4. 1 組織を拡充し競技力向上対策担当から競技力向上対策班を県教育庁保健体育課内に設置
2. 4. 18 総務企画部会において平成2年度事業計画等について審議
2. 4. 24 競技団体等に対し平成2年度福島県競技力向上対策推進に係る負担金交付事務について説明会を開催
2. 4. 27 本部委員会において平成2年度事業計画及び歳入歳出予算等を決定
2. 5. 2 県内大学競技スポーツ担当者会議を開催
2. 5. 9 官公署スポーツ担当者会議を開催
2. 5. 21 体育・スポーツ団体調整会議を開催
2. 6. 5 第50回国民体育大会開催申請書を(財)日本体育協会会長及び文部大臣に提出
2. 7. 10 県企業スポーツ連絡協議会平成2年度総会において平成2年度事業計画等を決定
2. 7. 11 第50回国民体育大会内定決定通知書を(財)日本体育協会会長及び文部大臣より受領
2. 7. 23 県準備委員会第9回常任委員会において第50回国民体育大会テーマ・スローガンを決定  
テーマ「ふくしま国体」  
スローガン「友よほんとうの空にとべ！」
2. 7. 24 少年・少女スポーツ教室を開催（9競技・4市2町1村）
2. 8. 7
2. 9. 18 第1回普及強化部会において平成3年度事業計画について検討
2. 10. 13 少年・少女スポーツ教室を開催（1競技・1町）
2. 10. 14
2. 11. 1 第45回（とびうめ）国体の反省及び第46回石川国体に向けての選手強化対策に係る会議を開催
2. 11. 29
2. 11. 28 中央講師招へい指導者講習会を開催
2. 12. 13 少年・少女スポーツ教室を開催（1競技・1市）
2. 12. 14
2. 12. 26 少年・少女スポーツ教室を開催（4競技・2市2町）
3. 1. 6

3. 3. 14 県企業スポーツ連絡協議会幹事会において平成3年度事業計画等について協議
3. 3. 14 県企業スポーツ連絡協議会主催の講演会を開催
3. 3. 20 第2回普及強化部会において平成2年度事業実績及び平成3年度事業計画について検討

## 第8節 体育施設

### 1 体育施設の管理及び利用状況

県営体育施設の効率的活用と施設管理の万全を期し、もって地域スポーツの振興を図るため、当該施設設置市町村等に管理を委託した。

#### (1) 施設管理一覧

施設名	所在地	管理方式	管理受託者	摘要
福島体育館	福島市	事務委託	福島市	昭和49年4月1日より
福島体育館 付属合宿所	〃	〃	〃	〃
郡山体育館	郡山市	〃	郡山市	〃
会津体育館	会津若松市	〃	会津若松市	〃
原町体育館	原町市	〃	原町市	昭和56年4月1日より
白河体育館	白河市	〃	白河市	昭和58年7月1日より
荻野漕艇場	高郷村	管理委託	高郷村	昭和51年4月1日より

※ 事務委託（地自法252条の14第1項）  
管理委託（地自法244条の2第3項）

#### (2) 施設の利用状況

施設の利用状況は、次のとおりである。

施設名	利用人員等	摘要
荻野漕艇場	漕艇 3,905隻	

### 2 公立学校施設整備費補助（学校体育諸施設補助）事業

#### (1) 水泳プール（屋外）